

### 外部評価軽減要件確認票

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 神社への散歩の道すがら、きれいに花を育てている近所の住民と挨拶や世間話をする。町内会（8番組）主催の花見会には、利用者有志が参加した。ホームの近くに住む管理者が地域の役員になったことで多くの情報が入るようになり、地域との距離が一段と近づいている。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 今年度は年間3回程度の開催となったが、次年度は規定通りの6回開催を目指している。イベントの報告や利用者の状態報告等、報告が主体の会議となっている。議事録の記入方法にも、一層の工夫が望まれる。	評価 ×
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 行政主催のグループホーム部会が定期的で開催されており、その時々タイムリーな話し合いが行われている。管理者にとっては、情報収集の有効な場となっている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 訪問調査日が土曜日であったことから、家族の訪問が多かったが、その時々管理者は応対に出て家族からの話に耳を傾けていた。家族アンケートからも、家族が非常に高い満足感を示している様子がうかがえる。自身の胸の内を、FAXで連絡してくる家族もあり、ホームに対する信頼も厚い。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	×
○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。		○
総合評価		×

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

今年度の運営推進会議の開催が3回であり、規定回数をクリアできなかったが、次年度に向けての管理者の意気込みに期待したい。
---

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

（注）要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。